

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社
 コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 高太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 入江 智重
 四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 大

TEL 0267-23-1560

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	9,327	9.2	1,547	16.6	1,382	1.4	842	△15.8
22年9月期第2四半期	8,542	11.3	1,327	79.9	1,363	400.4	1,000	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	56.08	—
22年9月期第2四半期	66.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	20,247	10,574	52.2	704.18
22年9月期	20,280	9,785	48.2	651.60

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 10,574百万円 22年9月期 9,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,100	13.1	2,620	8.9	2,480	29.8	1,670	30.9	111.21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 15,348,720株 22年9月期 15,348,720株

② 期末自己株式数 23年9月期2Q 331,519株 22年9月期 331,381株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 15,017,283株 22年9月期2Q 15,020,310株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本書(平成23年9月期第2四半期決算短信)は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本書開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本書に記載した業績予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年10月1日～平成23年3月31日、以下、当第2四半期又は当期間)におきましては、前期(平成22年9月期)末での潤沢な受注残高(7,205百万円)に加え、当期間前半の第1四半期連結会計期間(平成22年10月1日～平成22年12月31日、以下、第1四半期)に受注した製品を短納期で出荷すべく、グループ全体で連携を強化し効率的な生産活動に尽力した結果、売上高は9,327百万円(前年同期比109.2%)と増収を果たしました。

一方、受注高は、第1四半期において、前期に急伸した需給関係が循環サイクル的に停滞したことや、円高の影響による買い控えなどにより、前年同期比で約3割減少するなど懸念されました。しかしながら、当期間後半の平成23年年初から、ユーザーの投資マインドは旺盛さを取り戻し、3ヶ月ベース(平成23年1月～3月)での受注高が前年同期を上回るなど騰勢に転じ、当期間の受注高は8,296百万円(同87.5%)と急速に復調しつつあります。また、当期間末現在の受注残高も6,174百万円(同102.9%)と増加しています。

地域別売上高状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第2四半期	2,546	1,895	3,241	802	843	9,327
前第2四半期	1,582	1,743	3,691	897	626	8,542
対前年同期比	160.9%	108.7%	87.8%	89.4%	134.5%	109.2%

米州では、北米市場において、需要が回復傾向にある中、特にASB-70DPシリーズ機の人気が高く、売上が倍増した結果、地域全体でも大幅に伸長いたしました。欧州では、地中海沿岸地域の経済停滞や北アフリカでの政情不安などによる影響を被ったものの、他の市場で売上を伸ばし、欧州全体では増収となりました。南・西アジア地域では、有力市場である東南アジアなどは順調に推移したものの、インド国内や中東地域などでの売上減により、地域全体で前年同期の水準を下回りました。東アジア地域では中国で増収となった中で、台湾・韓国での減収が影響し、全体で減収となりました。一方、低迷していた国内では、回復の兆しを見せ始め増収となりました。なお、当第2四半期の連結海外売上高比率は91.0%(前年同期92.7%)となりました。

製品別売上高状況

(単位:百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第2四半期	5,194	2,621	526	985	9,327
前第2四半期	5,080	2,159	333	968	8,542
対前年同期比	102.2%	121.4%	157.6%	101.8%	109.2%

製品別の状況につきましては、汎用性に優れた1(ワン)ステップタイプの中核機ASB-70DPシリーズ機が好調な販売実績を残すとともに、大型機のASB-150DPシリーズ機が出荷台数を伸ばしました。一方、小型機ASB-50MB型は南・西アジアなどで低迷するとともに、PF8-4B型など1.5ステップタイプ機も減収となりました。以上の結果、ストレッチブロー成形機が5,194百万円(前年同期比102.2%)、金型が2,621百万円(同121.4%)、付属機器及び部品その他が、それぞれ526百万円(同157.6%)、985百万円(同101.8%)となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、受注採算性の管理を徹底しながら、インド工場の利用度拡大を推進して製造原価の抑制に努めた結果、インドルピー安の効果もあり、売上総利益率が改善し、売上総利益は3,951百万円(前年同期比114.5%)と大幅な増益を達成しました。営業利益は、費用対効果を見据えながら経費を一定水準に抑制する取り組みが奏功し、1,547百万円(同116.6%)と大きく増加いたしました。

また、騰勢が固定化しつつある円高の影響により、為替差損(201百万円)の計上を余儀なくされた中で、経常利益も1,382百万円(同101.4%)と僅かながら前年同期の水準を上回ることができました。

しかしながら、最終損益である四半期純利益は、法人税等の増加等により842百万円(同84.2%)と減益となりました。

なお、営業利益と経常利益は、第23期(平成13年9月期)から集計している中間期(第31期以降は第2四半期連結累計期間)で過去最高を達成し、厳しい経営環境の中でも、収益体質は更に強固なものになりつつあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債及び純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、売上債権が増加したものの、現金及び預金の大幅な減少により、前連結会計年度末と比べ70百万円減少し、16,106百万円となりました。また、固定資産は、IT基幹システムの構築費用及び生産設備の増設により、前連結会計年度末と比べ37百万円増加し、4,141百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が増加したものの、仕入債務及び前受金の大幅な減少により、前連結会計年度末と比べ779百万円減少し、8,035百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金の返済等により、43百万円減少し、1,637百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上、及び為替換算調整勘定のマイナス計上額の減少により、前連結会計年度末と比べ789百万円増加し、10,574百万円となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ503百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末では2,995百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益1,362百万円が計上されたものの、売上債権の増加、仕入債務及び前受金の減少による資金の減少要因が計上されたことから、営業活動の結果支出した資金は65百万円(前年同期:2,716百万円の収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻しによる収入等があったものの、有形固定資産の取得、及びIT基幹システムの導入に伴う支出等があり、投資活動の結果支出した資金は53百万円(前年同期:626百万円の支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の純減及び配当金の支払いにより、財務活動の結果支出した資金は395百万円(前年同期:1,487百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、主力製品の汎用機の拡販に加え、新型機の市場浸透の推進、次代を担う新製品群の商品化、及びアフリカ・南米など未深耕地域での市場開拓推進など需要の喚起に傾注するとともに、当社グループの生産拠点であるインド工場での生産対象機種種の拡充や生産設備の増設を進め、増産と更なる原価の抑制化に尽力しております。更に、新IT基幹システムの稼働を見据え、業務の効率化、経営体制の強化を図っております。

このような中で、「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載したとおり、当第2四半期連結累計期間におきましては、増収を達成するとともに、懸念がありました受注成約高も漸増化に転じることができました。更に、インド工場を有効活用し、コストダウンを一層推進したことにより、高い利益水準と増益基調を確保し、経営状況の見通しは当初予想を超え、好調に推移しています。

この中で、去る平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災におきましては、当社は現状業績に影響を与えるような被害等を被っておりません。しかしながら、今後、生産部材についての調達、原油の騰勢によるPET樹脂価格の動静、物流への影響、海外市場での風評による需要の低迷、為替への影響など、同震災に端を発する影響は潜在的な可能性として存しております。

これらを踏まえ、平成22年11月12日付「平成22年9月期決算短信」に記載した平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)はそのまま据え置くこととし、現時点では修正は行わないことといたします。

なお、今後の情報収集により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は9千円減少し、税金等調整前四半期純利益は17,768千円減少しております。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,399,925	4,144,683
受取手形及び売掛金	3,540,775	2,885,383
有価証券	9,996	9,972
商品及び製品	1,059,928	1,190,304
仕掛品	3,942,563	3,745,301
原材料及び貯蔵品	3,054,068	3,131,188
繰延税金資産	630,718	554,391
その他	558,386	605,283
貸倒引当金	△90,103	△89,539
流動資産合計	16,106,259	16,176,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,213,049	1,234,109
機械装置及び運搬具(純額)	679,526	678,326
土地	836,231	836,231
その他(純額)	254,006	186,504
有形固定資産合計	2,982,814	2,935,172
無形固定資産	360,027	265,659
投資その他の資産		
投資有価証券	488,213	430,236
その他	424,820	593,989
貸倒引当金	△114,724	△121,394
投資その他の資産合計	798,310	902,830
固定資産合計	4,141,152	4,103,662
資産合計	20,247,411	20,280,631

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,477,181	3,007,604
短期借入金	3,022,657	3,049,835
未払法人税等	517,444	337,205
前受金	1,187,330	1,591,507
賞与引当金	123,718	123,818
役員賞与引当金	16,000	34,300
その他	690,965	670,566
流動負債合計	8,035,297	8,814,836
固定負債		
長期借入金	651,730	789,750
退職給付引当金	368,996	382,139
役員退職慰労引当金	190,840	164,028
その他	425,796	344,568
固定負債合計	1,637,363	1,680,486
負債合計	9,672,661	10,495,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860,905	3,860,905
資本剰余金	3,196,356	3,196,356
利益剰余金	4,976,019	4,359,095
自己株式	△201,355	△201,255
株主資本合計	11,831,925	11,215,102
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,690	△51,381
為替換算調整勘定	△1,239,484	△1,378,412
評価・換算差額等合計	△1,257,174	△1,429,794
純資産合計	10,574,750	9,785,307
負債純資産合計	20,247,411	20,280,631

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	8,542,585	9,327,847
売上原価	5,091,689	5,376,242
売上総利益	3,450,895	3,951,604
販売費及び一般管理費	2,123,272	2,403,645
営業利益	1,327,623	1,547,959
営業外収益		
受取利息	46,492	43,226
受取配当金	3,466	3,563
為替差益	32,049	—
その他	24,523	22,563
営業外収益合計	106,531	69,353
営業外費用		
支払利息	55,278	32,617
為替差損	—	201,733
その他	15,196	466
営業外費用合計	70,474	234,817
経常利益	1,363,680	1,382,495
特別利益		
固定資産売却益	4,352	2,825
投資有価証券売却益	11,562	—
貸倒引当金戻入額	20,207	—
償却債権取立益	6,820	—
特別利益合計	42,942	2,825
特別損失		
固定資産売却損	1,840	754
固定資産除却損	3,086	4,215
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,759
特別損失合計	4,926	22,729
税金等調整前四半期純利益	1,401,696	1,362,591
法人税、住民税及び事業税	390,536	541,456
法人税等調整額	10,622	△21,048
法人税等合計	401,158	520,407
少数株主損益調整前四半期純利益	—	842,183
四半期純利益	1,000,538	842,183

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,401,696	1,362,591
減価償却費	217,462	157,530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△139,594	△7,191
受取利息及び受取配当金	△49,959	△46,790
支払利息	55,278	32,617
売上債権の増減額 (△は増加)	142,434	△632,057
たな卸資産の増減額 (△は増加)	474,521	12,588
仕入債務の増減額 (△は減少)	696,239	△527,595
前受金の増減額 (△は減少)	82,287	△402,527
その他	82,165	312,770
小計	2,962,532	261,936
利息及び配当金の受取額	37,661	59,668
利息の支払額	△57,484	△22,928
法人税等の支払額	△226,217	△364,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,716,492	△65,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△463,538	234,384
有形固定資産の取得による支出	△53,900	△177,330
投資有価証券の取得による支出	△23,158	△1,200
その他	△85,632	△109,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△626,229	△53,232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△766,014	152,358
長期借入れによる収入	60,000	—
長期借入金の返済による支出	△630,220	△319,820
自己株式の取得による支出	△670	△100
配当金の支払額	△150,095	△223,560
その他	△529	△4,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,487,530	△395,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,578	10,989
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	607,310	△503,377
現金及び現金同等物の期首残高	2,857,666	3,498,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,464,977	2,995,546

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

当社グループは、ストレッチブロー成形機、専用金型、付属機器及び部品の製造販売において単一事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報については該当ありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

	日本 (千円)	米州 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,440,773	1,517,374	1,717,963	3,866,473	8,542,585	—	8,542,585
(2) セグメント間の内部売上高	3,941,842	29,211	1,391	1,248,190	5,220,635	(5,220,635)	—
計	5,382,615	1,546,586	1,719,354	5,114,664	13,763,220	(5,220,635)	8,542,585
営業利益	182,349	81,139	105,410	811,700	1,180,599	147,023	1,327,623

(注) 本邦以外の国又は地域の区分方法及び各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 国又は地域の区分方法……………地域的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域……………米 州：北米、中米、南米

欧 州：西欧、北欧、東欧

アジア：東アジア、南・西アジア、オセアニア

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

		米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高	(千円)	1,582,814	1,743,721	4,589,146	7,915,682
II 連結売上高	(千円)	—	—	—	8,542,585
III 海外売上高の連結売上高に占める割合	(%)	18.6	20.4	53.7	92.7

(注) 1. 国又は地域の区分方法及び各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 国又は地域の区分方法……………地域的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域……………米 州：北米、中米、南米

欧 州：西欧、北欧、東欧

アジア：東アジア、南・西アジア、オセアニア

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ストレッチブロー成形機、専用金型、付属機器及び部品の製造販売において単一事業を営んでおり、当社は最終顧客の地域別に当社製品の販売戦略を立案し、子会社と連携して事業活動を展開しております。

従って、当社グループの報告セグメントは、販売・生産体制を基礎とした最終顧客の地域別のセグメントから構成されており、「米州」、「欧州」、「南・西アジア」、「東アジア」、「日本」の5区分を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	2,546,244	1,895,074	3,241,177	802,091	843,259	9,327,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,546,244	1,895,074	3,241,177	802,091	843,259	9,327,847
セグメント利益	591,108	442,301	770,364	52,952	205,795	2,062,522

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,062,522
全社費用	△435,841
その他の調整額	△78,720
四半期連結損益計算書の営業利益	1,547,959

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しているため、前年同期比較に関する情報は記載しておりません。

① 受注状況

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
米州	2,090,978	—	1,059,453	—
欧州	1,748,284	—	967,556	—
南・西アジア	2,761,057	—	2,436,232	—
東アジア	667,147	—	1,008,598	—
日本	1,028,910	—	702,325	—
合計	8,296,378	—	6,174,166	—

② 販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	
	販売実績額(千円)	前年同期比(%)
米州	2,546,244	—
欧州	1,895,074	—
南・西アジア	3,241,177	—
東アジア	802,091	—
日本	843,259	—
合計	9,327,847	—